

1. 補助金額の算出について

補助金額及び補助上限額は下記の通りとする。

ただし、全体の上限を1/3または60万円のいずれか低い方とする。

項目			災害対応型	ネットワーク型	周波数制御型	
VPPアグリとの契約			不要	必要	必要	
設備費	家庭用蓄電システム	補助額 (/kWh)	2019年度 目標価格以下	①2万円	②3万円	③4万円
		その他 措置	ハイブリッドPCS	④1.0万円/kW 補助対象経費額控除（目標価格との比較において）		
	周波数制御機能		—	—	10万円 補助対象経費控除	
	HEMS			⑤1/2以内 上限5万円		
工事費			⑥1/2以内 上限5万円	⑦1/2以内 上限7.5万円	⑧1/2以内 上限10万円	

2. 計算方法（災害対応型）

・家庭用蓄電システム

$$\text{初期実効容量 (kWh)} \times \text{①} = \text{⑨設備費 (家庭用蓄電システム) 補助金額}$$

※目標価格との比較における条件

$$\text{機器代金} \leq \text{蓄電容量(kWh)} \times 9.0\text{万円 (保証年数10年の場合)}$$

・HEMS

$$\text{機器代金} \times 1/2 = \text{⑩設備費 (HEMS) 補助金額} \leq 5\text{万円 (⑤)}$$

$$\text{⑪設備費補助対象金額} = \text{⑨} + \text{⑩}$$

・工事費

$$\text{工事費} \times 1/2 = \text{⑫工事費補助金額} \leq 5\text{万円 (⑥)}$$

$$\text{補助金額} = \text{⑪} + \text{⑫}$$

※蓄電容量、初期実効容量については、カタログの値ではなくホームページにて公表される数値を確認すること。

ホームページ公開時期は5月下旬頃を予定

3. 計算例

① 災害対応型

- 家庭用蓄電システム販売価格: 1,000,000円(蓄電容量8.0kWh 初期実効容量6.8kWh 15年保証)
家庭用蓄電システム工事費: 250,000円
- HEMS機器販売価格 120,000円、工事費 50,000円 の場合

蓄電容量8.0kWh×13.5万円=1,080,000円が目標価格となり、販売価格1,000,000円は目標価格以下のため2019年度目標価格以下の補助額を適用

家庭用蓄電システム設備費補助金額: 初期実効容量6.8kWh×補助額20,000円 = **136,000円**

HEMS機器設備費補助金額: 120,000円×1/2=60,000円だが、**上限50,000円**を適用

工事費補助金額: (250,000円+50,000円)×1/2=150,000円だが、**上限50,000円**を適用

136,000円+50,000円+50,000円 = **236,000円**が補助金の額となる

※上限価格は(1,000,000 + 250,000円 + 120,000円 + 50,000円)×1/3 = 473,333円

② ネットワーク型 (ハイブリッドPCS)

- 家庭用蓄電システム販売価格: 1,000,000円
(蓄電容量7.0kWh 初期実効容量6.8kWh 系統側のPCSの定格出力5.8kW 15年保証)
家庭用蓄電システム工事費: 250,000円
- HEMS機器販売価格 120,000円、工事費 50,000円の場合

蓄電容量7.0kWh×13.5万円=945,000円が2019年度目標価格となる

販売価格1,000,000円は目標価格以上だが、系統側のPCSの定格出力5.8kWh×10,000円=58,000円を控除(942,000円)すれば、目標価格以下となるので 2019年度目標価格以下の補助額を適用

家庭用蓄電システム設備費補助金額: 初期実効容量6.8kWh×補助額30,000円 = **204,000円**

HEMS機器設備費補助金額: 120,000円×1/2= 60,000円だが、**上限50,000円**を適用

工事費補助金の額: (250,000円+50,000円) ×1/2=150,000円だが、**上限75,000円**を適用

204,000円+50,000円+75,000円 = **329,000円**が補助金の額となる

※上限価格は(942,000円 + 250,000円 + 120,000円 + 50,000円)×1/3 = 454,000円